

わがまち防災ウォッチング

班から行動

茨城・水戸支部

水戸支部は「地震が頻繁にあつて不安」という声に、地域の高齢化や障害者対策、女性の視点から、全班で「わがまち防災ウォッチング」として指定避難所をチェックしようと決めました。班から行動が始まっています。

市民センター

備蓄が意外に少ない

みのり班は班委員会で話し合い、小组活動などでよく利用している地域の市民センターを、初めてウォッチングすることになりました。

センターには、間仕切りやベットを入れるケージも置いてほしいとの声もあるそうです。倉庫を大きくしてもらって備蓄を！ また、周辺に災害時生活用水協力井戸が12カ所あるとわかり安心もしました。

9月13日にIさんとAさんが訪問。事前に連絡したので、センター長が備品をチェックし対応してくれました。災害時のセンターの受け入れ人数は232人。防災倉庫の備蓄品は、飲料水15箱90本、非常食はクラッカー1350パック、簡易トイレ20個、毛布100枚、ブルーシート8枚、発電機2台など。生理用品や紙おむつ類については「置いていない」とのこと。非常食がクラッカーだけ?! 受け入れ人数

に比べ、非常食の量も種類も少ないと感じました。

支部作成の防災ウォッチング・チェックシート

ています。親子リズムの体験で2人が入会し、毎週行っているヒバクシャ国際署名の宣伝で読者が増え、9月の仲間づくり目標も達成しました。

小学校

耐震工事が済んだ体育館

のぼら班は班会で、会員一人ひとりが住んでいる地域の避難所をウォッチングしようとして話し合いい、SさんとKさんが初めて小学校をウォッチング。事前に市の地域安全課に依頼したこと、教育委員会と学校に許可を取っておいでください。



わがまち防災ウォッチング

《新日本婦人の会・水戸支部》班

- ①地域の避難場所
 - ・市民センター
 - ・学校（小・中・高・大）
 - ・その他（福祉施設など）
- ②避難場所は何人くらい避難できますか？
- ③誰でも（地域外の人でも）避難できますか？
- ④防災倉庫はありますか？
- ⑤備蓄物資はどのくらいありますか？
飲料水、非常食、ラップ、ポリ袋、ブルーシート、簡易トイレ、トイレ用ペーパー、ライター、缶切り、軍手、生理用品、乳児用紙おむつ、高齢者用紙おむつ、ウエットティッシュ、毛布、携帯コンロ、その他
- ⑥災害時生活用水協力井戸（災害で断水した時、飲用以外の生活用水として水を提供できると登録している井戸）は避難場所周辺に何カ所ありますか？
- ⑦その他

ました。

当日は、市の担当職員2人が対応しました。校庭が狭いのが気になりましたが、災害時の受け入れ人数は限定していないという体育館と校舎は耐震工事が済んでいました。

簡易間仕切り2種類（ファミリー用、授乳やおむつ交換用）が広げられ、簡易式トイレ、抗菌防かびの厚手の床用ロールマット、ランタン、飲料水・非常食サンプル（ドレトルト、アルファ米）

防災に予算を！

班の要望をまとめ、市へ

水戸市は、市民会館など大型開発事業に巨額の予算を使うとしていますが、そこで支部は、災害から住民の命と暮らしを守るためにも班の要望をまとめ、市へ要請しようとして準備を始めています。

今回、市民センターの備蓄が不十分なことばかりでした。女性団体として生理用品、紙おむつ（乳幼児用、高齢者用）などが置いてありましたが、生理用品や紙おむつについて聞くと、「医療品は市が災害協定を結んでいる医薬品会社など200社に随時頼む」という返事。しかし、非常時に対応できるか、不安が残りました。